

CASBEE-川崎2011 (v.1.2)

アデニウム上麻生

12081

重点項目についての環境配慮概要

内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。	実績重点項目スコア 合計/ 重点項目最高点のスコア合計	重点項目への 貢献点注) (5点満点)
緑の保全・回復(G)		Gの平均点	2.8
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物資源の保全と創出	川崎市緑化指針の基準に適合している。 緑地を設け、良好な景観を形成している。 空地の40%以上確保や舗装面積を10%未満にすることで、暑熱環境を緩和している。	2.1/4.3	2.5
2 まちなみ・景観への配慮			
3 3.2 敷地内温熱環境の向上			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善	隣棟間隔指標 $R_w = 94.325/8.94 + 23.089/5.70 = 14.602$	0.5/0.8	3.0
地球温暖化防止対策の推進(W)		Wの平均点	2.9
Q-1 ■ 室内環境対策			
2 2.1 2.1.3 外皮性能	各階窓面は、庇(バルコニー)・カーテンなどによりグレアを制御。	4.7/7.1	3.3
3 3.1 3.1.3 屋光利用設備			
3.2 3.2.2 屋光制御			
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物資源の保全と創出	川崎市緑化指針の基準に適合している。 空地の40%以上確保や舗装面積を10%未満にすることで、暑熱環境を緩和している。	0.9/2.3	2.0
3 3.2 敷地内温熱環境の向上			
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物の熱負荷抑制	省エネルギー対策等級における等級3に相当 有効な採光・通風が確保されている。 潜熱回収瞬間式給湯器(エコジョーズ)を採用している。	3.6/5.0	3.6
2 自然エネルギー利用			
3 設備システムの高効率化			
4 効率的運用			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
1 水資源保護	ガス利用の消火設備を採用していない。	2.3/4.6	2.5
2 非再生性資源の使用量削減			
3 フロン・ハロンの回避			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善	・隣棟間隔指標 $R_w = 40.016/8.94 + 6.098/5.70 = 5.545$	0.5/0.8	3.0
資源の有効利用による循環型地域社会の形成(R)		Rの平均点	2.8
Q-2 ■ サービス性能対策			
2 2.2 部品・部材の耐用年数	劣化対策等級3を確保している。	0.3/0.5	3.2
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
1 水資源保護		1.8/3.9	2.4
2 非再生性資源の使用量削減			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.3 地域インフラへの負荷抑制		0.3/0.4	3.3
ヒートアイランド現象の緩和(H)		Hの平均点	2.9
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物資源の保全と創出	川崎市緑化指針の基準に適合している。 空地の40%以上確保や舗装面積を10%未満にすることで、暑熱環境を緩和している。	0.9/2.3	2.0
3 3.2 敷地内温熱環境の向上			
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物の熱負荷抑制	省エネルギー対策等級における等級3に相当 有効な採光・通風が確保されている。 潜熱回収瞬間式給湯器(エコジョーズ)を採用している。	3.6/5.0	3.6
2 自然エネルギー利用			
3 設備システムの高効率化			
4 効率的運用			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善	・隣棟間隔指標 $R_w = 94.325/8.94 + 23.089/5.70 = 14.602$	0.5/0.8	3.0

注)重点項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

重点項目への貢献点の平均点 **2.8**

ライフサイクルCO2評価対象項目についての環境配慮概要

内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。	実績スコア合計/ 最高点のスコア合計	ライフサイクル CO2評価対象 項目への 貢献点注) (5点満点)
建設段階			
Q-2 ■ サービス性能対策			
2 2.2 2.2.1 躯体材料の耐用年数	15年	0.1/0.1	5.0
修繕・更新・解体段階			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
2 2.2 既存建築躯体等の再利用		0.8/1.4	3.0
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			
運用時のエネルギー			
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物の熱負荷抑制	省エネルギー対策等級における等級3に相当 有効な採光・通風が確保されている。 潜熱回収瞬間式給湯器(エコジョーズ)を採用している。	3.6/5.0	3.6
2 自然エネルギー利用			
3 設備システムの高効率化			
4 効率的運用			

注)ライフサイクルCO2評価対象項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。